

平成 26 年度 関東支部運営委員会（第 6 回） 議事録

日 時：平成 27 年 4 月 7 日（火）14：00～17：00				会 場：地盤工学会会館				
支部長	龍岡 文夫	○	副支部長	五道 仁美	×	副支部長	田中 誠	○
副支部長	菊池 喜昭	×	副支部長	青木 雅路	○	顧問	石原 研而	×
顧問	太田 秀樹	○	顧問	國生 剛治	×	監事	齋藤 邦夫	×
監事	佐藤 謙司	×	幹事長	小峯 秀雄	○	副幹事長	橘 伸也	×
副幹事長	吉田 潔	○	山梨県 G リーグ-幹事	後藤 聡	×	茨城県 G リーグ-幹事	松島 亘志	×
栃木県 G リーグ-幹事	西村 友良	×	群馬県 G リーグ-幹事	若井 明彦	×	神奈川県 G リーグ-幹事	森川 嘉之	×
千葉県 G リーグ-幹事	若月 洋朗	○	埼玉県 G リーグ-幹事	川本 健	×	研究委員会 G リーグ-幹事	渡邊 康司	○
会員 SG リーグ-幹事	重村 智	×	会員 SG リーグ-幹事	鈴木 亮彦	○	発表会 G リーグ-幹事	杉山 太宏	×
事務局	青木 美智子	○	栃木県 G 代理	清木 隆文	○			

○：出席，×：欠席

1. 前回議事録の確認

・平成 26 年度第 5 回運営委員会議事録（2/6）

【別紙-1】

→ 確認の上、承認された。

2. 最近のスケジュール

・平成 27 年度支部通常総会：平成 27 年 4 月 21 日（火）15：30-17：15

特別講演会「東京国際空港建設事業のあゆみ」水上純一氏（関東地方整備局）

【別紙-2】

→ 確認された。現時点講演会参加者は 53 名で、今後も増える予想。そのため、総会および講演会の会場は、机なしで椅子のみとする。また、立ち見ができるほど盛況の場合については、地盤工学会関係者は、他参加者に椅子を譲るなど、臨機応変に対応する。

3. 本部からの連絡・検討依頼事項

(1) 平成 26 年度支部「事業報告案・決算案」提出

【別紙-3】

→ 報告の内容について確認された。

(2) 「地盤工学会誌」平成 27 年度読者モニター推薦について

【別紙-4】

→ 読者モニターリストが提示され、16 名が承認された。新任については 13 名。基本コンセプトは、女性の比率を上げること、会員でない方に読者になってもらうことが確認された。また、モニターの結果については、WEB 上で公開していることが確認された。

(3) 東北支部設立 60 周年記念行事

【別紙-5】

→ 関東支部として、祝電をおくることで対応することが確認された。東北支部としても、交通費の支給がないため、必ずしも、参加を期待していないことが確認された。

(4) 平成 29 年度以降の地盤工学研究発表会、開催地支部順序決定のお知らせ

【別紙-6】

→ 決定事項として確認された。関東支部は 70 周年の平成 31 年度（2019）の開催。基本的に支部で対応するため、特別ワーキンググループの必要性が確認された。

(5) 「永年継続特別会員表彰」・「貢献賞受賞者」・「永年にわたる正会員への感謝状」について

→ 決定事項として確認された。特別会員表彰として13社が提示され、支部総会にて表彰されることが確認された。また、貢献賞受賞者は関東支部ではないことが確認された。永年会員感謝状については、17名が提示された。現時点での支部総会の参加は未定であるが、不参加の場合、後日感謝状を郵送することで対応することが確認された。

【別紙-7】

(6) 訃報 軽部大蔵氏（名誉会員、功労賞受賞者、元関西支部長）

横山幸満氏（土質工学会監事、名誉会員、功労賞受賞者）

→ 結果事項として、生花と弔電を送ったことが確認された。次年度からは、生花に関しては、体裁面や費用面から、対象者を限定することが望ましいとの意見が上がった

4. 支部からの周知・連絡・検討事項

(1) 平成27年度支部役員体制

【別紙-8】

→ 名簿案が提示され、承認された。

(2) 浦安市からの依頼「東日本大震災に関連する資料の収集について」

【別紙-9】

→ 依頼文が提示された。問題点として、公開方法によっては、著作権が侵害されることが意見として上がった。そのため、本部にも同様の依頼があることを確認し、本部対応を踏えることが確認された。運営委員会としては、前向きに対応することが意見として上がったが、浦安市の公開方法の詳細を確認し、最終的には、著者の承諾を得て協力することが確認された。

(3) 書籍の紛失について

【別紙-10】

→ 明確な紛失理由の提示はないが、紛失分を補填して頂くことが確認された。24,840円×20冊=496,800の請求書でH26年度において処理することが確認された。

(4) ニュースレターNo.35 発行

→ 確認された。

(5) ニュースレターの発行形態について

【別紙-11】

→ WEB配信が検討されたが、法人会員のサービスや配布資料として出来映えから、紙媒体での発行は継続することが承認された。ただし、費用面削減の点から、年3回から年2回の発行とし、発行時期は、第1回評議会時と支部総会時の2回が承認された。

(6) 平成26年度後期支部交付金

【別紙-12】

→ 添付資料より、770,000円の送金額が確認された。

(7) 平成26年度予算実行状況、決算見込み

【別紙-13】

→ 添付資料より、収入は約2,200万、支出は約2,880万で経常増減額は約-680万、期首残高1,350万で26年度正味財産期末残高約670万が確認された。

(8) 平成 27 年度予算

【別紙-14】

→ 添付資料より、収入は約 1,720 万、支出は約 2,100 万で経常増減額は約 - 380 万、期首残高 670 万で 27 年度正味財産期末残高約 300 万が確認された。1 年後の 27 年度結果を踏まえて、収入、支出の詳細について検討することが望ましいと確認された。

5. 開催結果、進捗状況の報告（平成 27 年 4 月開催までを記載）

(1) 特別講演会「2015 年春に開業を迎える北陸新幹線長野・金沢間建設の概要」

主催：地盤工学会関東支部

日時：平成 27 年 2 月 19 日（木）17:15-18:15、会場：JGS 会館

→ 盛況であったことが報告された。

6. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

(1) 会員サービス G

【別紙-15】

→ 添付資料により、内容が報告された。

(2) 茨城県 G

【別紙-1】

(3) 栃木県 G

【別紙-16】

→ 添付資料により、内容が報告された。

(4) 群馬県 G

【別紙-1】

(5) 山梨県 G

【別紙-1】

(6) 千葉県 G

【別紙-17】

→ 添付資料により、内容が報告された。

(7) 埼玉県 G

【別紙-1】

(8) 神奈川県 G

【別紙-18】

→ 添付資料により、内容が報告された。

(9) 研究委員会 G

【別紙-19】

→ 添付資料により、「新・関東の地盤」の不具合対応状況と 3 件の新設研究委員会の内容が説明された。不具合状況では、75 万の経費がかかることが報告された。新設研究委員会については、意見として、①地盤工学会の外へ発信できること、②地盤工学会員へのリターンがあること、③外部資金を調達できること、④マンネリ化しないこと（継続的でなく断続的に実施等）、⑤新しい人材が確保できること等が上げられた。また、旅費については基本認めないことが確認された。これらを踏まえて、再度研究委員会グループで検討することが確認された。

(10) 支部発表会実行委員会

【別紙-20】

→ 添付資料により、GeoKanto2015 構成案が提示された。

(11) 企画総務 G

【別紙-1】

→ 口頭により内容が報告された。

(12) 表彰委員会

【別紙-21】

→ 添付資料により、内容が報告された。2 つの表彰案件があったが、表彰委員会から 1 件のみ採用となったことが報告された。落選した 1 件については、落選理由を明記しものを返信することが確認された。本部では推薦者に返信が一般的であるが、今回は自選のため当事者に返信することが確認された。

7. その他

(1) 退会・等級変更届

- ・ 関東地方整備局河川部 退会

→ 副支部長の五道さまからの退会内容について、小峯幹事長から報告された。関東地方整備局企画部で1本化する経緯であるため、慰留しないことが確認された。

(2) 次回運営委員会開催日程

平成 27 年**月**日 (前年度は、平成 27 年 6 月 5 日に開催)

→ 支部長、幹事長、会議室の空状況より、6 月 1, 2, 15, 19, 23, 29, 30 日に開催予定。最終決定は、伝助による運営委員会の皆様の都合により決定することが確認された。